

【通常総会議事録】

日 時：2001年（平成13年）10月5日(金)
16:30～18:15
場 所：イーグレひめじ多目的ホール（A会場）
議 長：田原博人

議事に先立ち出席者の確認がなされた。事前投票総数は303名、総会出席者は116名である。なお、出席者のうちで事前投票をした13名は、事前投票の方を無効とした。従って、有効出席者総数は406名で、定足数（正会員総数1416名の5分の1以上：284名以上）を満たしていることを確認した。次に署名人として中井直正氏、杉山 直氏が選出された。

議事の経過及び結果

- 2002年度事業計画案（第1号議案）
2002年度事業計画案について郷田庶務理事より説明があり、質疑応答の後賛否を問い、賛成多数で承認された。
- 2002年度収支予算案（第2号議案）
2002年度収支予算案について松原会計理事より説明があり、質疑応答の後賛否を問い、賛成多数で承認された。
- 新評議員選出の件
2002年～2005年の任期となる新評議員選出の件について、郷田庶務理事より説明があり、質疑応答の後賛否を問い、賛成多数で承認された。
- 「会費に関する細則」変更案
「会費に関する細則」変更案について、立松会計理事より説明があり、質疑応答の後賛否を問い、賛成多数で承認された。

なお、この件は学生に対する延滞料金の是非など様々な意見がだされ、事前投票でも文面による意見が見受けられたことから、今後の参考とするため、賛否の数字を記録しておくことにした。その結果は、賛成371、反対26、保留9である。理事会では本総会で出された意見を参考にして今後もより良い方策等を検討していくことになった。

報告事項等

- PASJ会員向けの電子版アクセス制限について
天文学会員と購読機関に対するPASJ電子版のアクセス制限について理事会で決定し、評議員会に報告された実施事項について、大橋PASJ理事より、説明があった。
これに対して、学部学生や学会員ではない他分野の人の閲覧のため国内の購読機関にもアクセス権を設けるべき等の要望が出され、理事会ならびにPASJ編集部では、会費未納の会員を少なくしてアクセス権の制限を撤廃できるよう努力するなど、今後もより良い方策等を検討していくことになった。
- 年会実行委員会新委員の補充と交替報告
茂山年会理事（年会実行委員会委員長）より、年会実行委員会の新たな委員として鈴木知治氏、また戸谷友則氏の海外出張に伴い、河野孝太郎氏に交替した旨のことが報告された。なお、この新委員は、すでに理事会で議決を経た上、理事長により任命されている。
- 宇宙3機関の統合に関する要望書
文部科学大臣より、宇宙3機関（宇宙開発事業団、航空宇宙技術研究所、宇宙科学研究所）が統合される方向が公表されたが、この件に関して、井上 一氏より状況説明があった。また、田原理事長より要望書をもとに、以下のような報告があった。
宇宙3機関の統合に関して、統合後もこれまで宇宙研が果たしてきた共同利用機関としての役割、大学院教育等是新機関においても適切に保持され、日本のスペースサイエンスの発展につながるようなものにしなくてはいけないことを強く訴えて行く必要性を理事会および評議員会で確認したこと、またその旨を記した要望書を提出することに理事会および評議員会で決定した。なお、要望書の宛先は文部科学大臣宛とすること、さらに要望書を送った旨を統合準備会議メンバー等にも通知することを評議員会で決定している。
- 学会財政改革について
松原会計理事より、学会財政の動向について状況説明があった。学会の予算は長期的な赤字傾向にあり、運用上の努力や抜本的な改革が早急に必要であり、理事会として一般会計全般にわたって改革案を検討中である旨の報告があった。また、松原会計理事より会員数を増やすように会員諸氏も協力してほしいとの要望があった。
- IAUアジア太平洋地域会議の日本での開催について
天文学会と天文研連が共同主催するIAUアジア太平洋地域会議（2002年7月、日本にて開催）について、池内 了天文研連委員長より、説明および会員諸氏への参加呼びかけがあった。
- 総会運営について
総会での可決方法、委任の方法、出席者数確認のための議場閉鎖など、総会運営に関わる件について、いくつか意見が出された。これらの意見を含め今後理事会でも検討していくとの田原理事長からの発言があった。

2001年10月22日
議長 田原博人
署名人 中井直正
署名人 杉山 直

[天文学会ホームページに戻る](#)